



三中だより

平成30年3月12日(月)第23号
 塩竈市立第三中学校
 〒985-0831
 多賀城市笠神2の1の1
 電話 022-362-0969
 FAX 022-366-1551

～ しおがま「ふれあい」運動 ～

ふだんから「はやね・はやおき・あさごはん」
あたたかく語り合おう「夢タイム」

れんぞくの時間を決めよう「テレビやゲーム」
いっしょに取り組む「体力づくり」

3年生が卒業しました。3年生のいない、静かな教室はどこか寂しげに見えます。

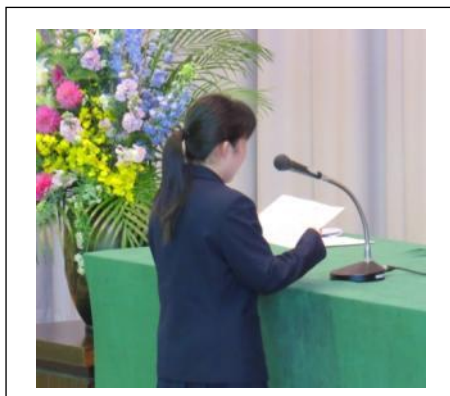
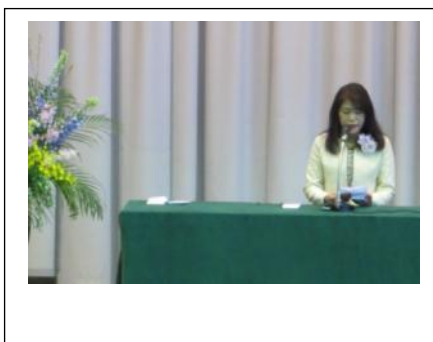
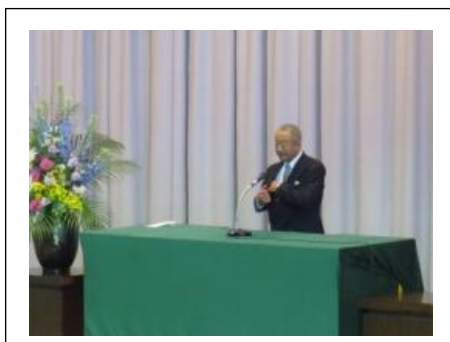
第69回卒業式

3月9日(金)、3年生80名が母校、第三中学校を卒業しました。公務でご多用のところ、塩竈市議会議長様、塩竈市教育委員会教育委員 教育長職務代理者様、本校PTA会長様をはじめ、多数のご来賓の方々にお越しいただき、厳粛な雰囲気のもとで第69回卒業式が挙行されました。担任から卒業生一人一人の名前が呼ばれるたびに、万感の思いで返事をし、卒業証書を受け取る姿を在校生はしっかりと見つめていました。

式辞では、校長先生から「卒業証書はこれからの人生を切り拓く出発点の証です。『何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く』の言葉があります。優しさあふれる3年生が大きく羽ばたくことを願っています。」とお話がありました。PTA会長様、教育委員様からも心温まる、餞(はなむけ)の言葉を頂戴しました。

在校生代表の送辞では、「3年生の先輩方がこれまで築き上げた母校の伝統に、さらに新たな伝統を積み上げていきます。」と述べると、呼応するように卒業生代表で、生徒会長が、「母校、第三中学校の伝統と誇りを胸に、私たちを超えて成長してくれることを期待します。私たちもそれぞれの道を自分の力で切り拓いていきます。」と答辞を述べました。

入学式では両の手に何も持たなかったけれど、卒業式ではその手に卒業証書を持って学舎を後にした卒業生、3年間の重みを卒業証書に感じながら、名残惜しそうに母校に別れを告げました。



全校合唱「絆」



旅立ちの時

第三中学校の校歌は、いつも全校生徒が元気よく、声高らかに歌います。卒業式という別れのこの日、御来賓の方々、保護者の皆さま、職員とともに、在校生、卒業生の荘厳な歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。

同窓会入会式

卒業式の前日3月8日(木)、公務でお忙しい中、同窓会長様、副会長様にお越しいただき、同窓会入会式が開催されました。同窓会長様からは「伝統ある第三中学校の新たな同窓生として、「聞き上手」「聴き上手」になってください。相手の気持ちを押し量り、人とのかかわりを大切にしてください。そしてこれからも第三中学校に心を寄せ、学校へ協力をお願いします。」とのお話がありました。校長先生からは「これまでの卒業生数が一万を超える学校はそう多くはありません。第三中学校の同窓生としての誇りを受け継いでください。」とのお話がありました。同窓生代表は、「歴史と伝統のあるこの第三中学校の同窓生として、私たち一人一人、それぞれの道を歩みながら自分の未来を切り拓くために努力し続けていきます」との誓いのことばを述べました。



三中魂を背に話を聞く第69回同窓生



同窓会世話人の委嘱状を受ける代表者4名

「PV (パブリック・ビューイング)」その後……

冬季五輪が終わっても、日本代表選手は次なる目標、そして世界各国で開催される大会に向け、すでに動き出しています。異国の地で開催された冬季五輪では、国を超え、世代を超えて各国代表選手が互いの健闘を讃え合う素晴らしい心が全世界へ中継されたことはまだ記憶に新しいところです。

本校ではとある縁で、ある日本代表選手を応援し、その選手は66年ぶりとなる連覇という偉業を成し遂げました。世界生中継でその姿、その勇氣、その優しさを目と心に焼き付けることができました。

三中生の熱意と想いを、誰かがその選手に届けてくれたのでしょうか。ある日、三中にお届けものがありました。そしてそれはすぐに全校生徒に伝えられました。三中生は人の気持ちの大切さを、また一つ心新たに自分の胸に刻み込むこととなりました。

ただいま上映中

震災により大きな被害を受けた塩竈市の魚市場が、この度装いも新たになり、昨年9月に本校生徒会代表が招待を受け、「ひがしもの」の初セリや施設の見学に行ってきました。

そのときの記録を含めたDVDが現在、魚市場で上映されています。ぜひ、魚市場に足を運ばれた際にはご覧ください。

【お問い合わせ】

塩竈市市場管理事務所(新浜町一丁目13番1号)

電話番号: 022-364-6151 (代表)